2020年３月期 決算説明

2020年5月22日

丸文株式会社

東証1部 7537

© 2020 MARUBUN CORPORATION

アジェンダ

1. 2020年３月期 連結決算の概要

2. 株主還元

3. 中期経営計画 事業戦略と重点施策

4. 2021年3月期 業績予想について

5. 参考資料

© 2020 MARUBUN CORPORATION

2020年３月期 連結決算の概要

© 2020 MARUBUN CORPORATION

2020年３月期 業績サマリ

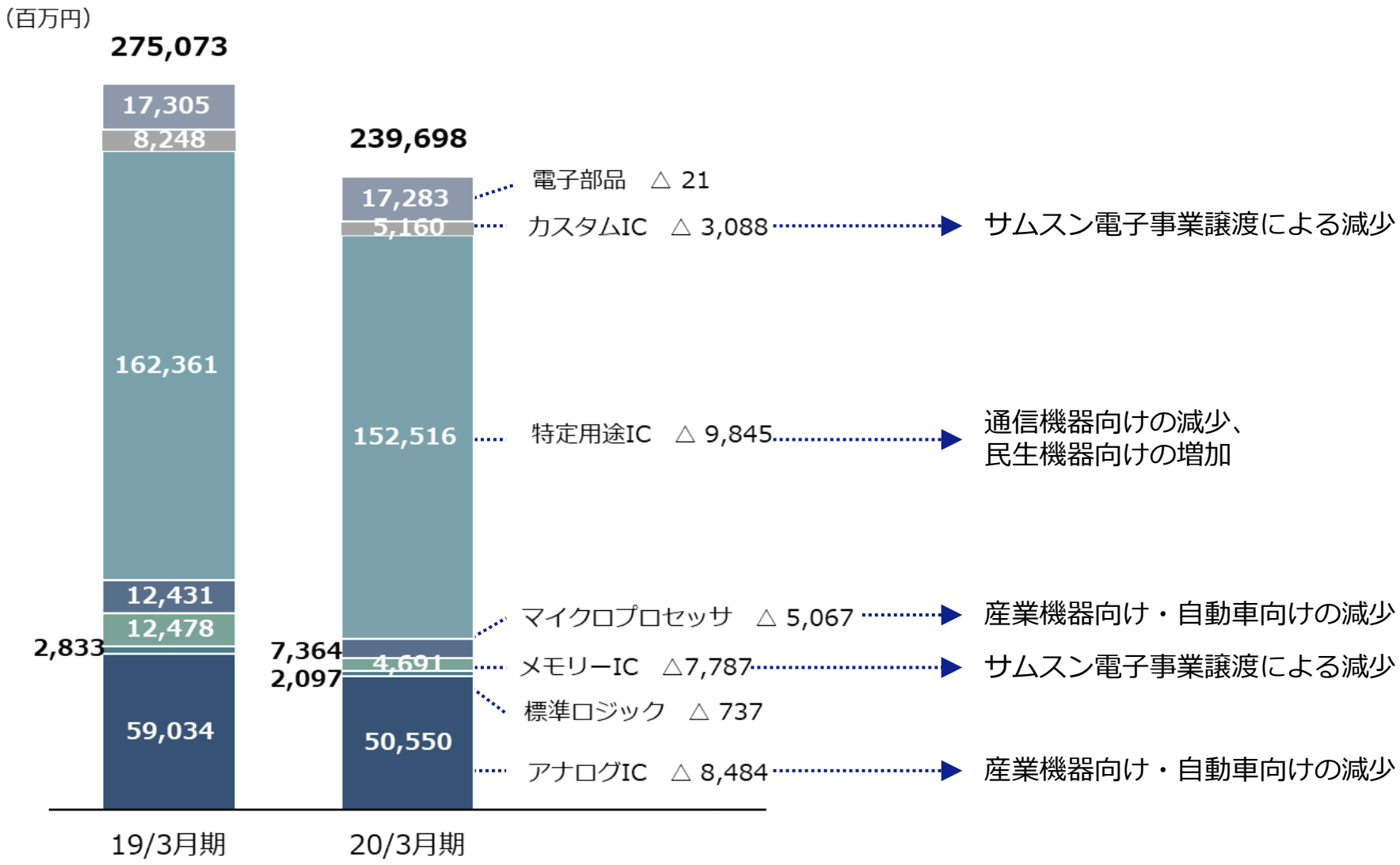
(百万円)	19/3月期		20/3月期			前年同期比		予想比
	実 績	構成比	予想	実 績	構成比	金 額	%	増減額
売上高	**326,694**	**100.0%**	**285,000**	**287,550**	**100.0%**	**△ 39,144**	**-12.0%**	**2,550**
デバイス事業	275,073	84.2%	233,300	239,698	83.4%	△ 35,375	-12.9%	6,398
システム事業	51,621	15.8%	51,700	47,852	16.6%	△ 3,769	-7.3%	△ 3,848
売上総利益	**22,767**	**7.0%**	**19,300**	**18,577**	**6.5%**	**△ 4,190**	**-18.4%**	**△ 723**
販管費	17,719	5.4%	16,400	16,207	5.6%	△ 1,512	-8.5%	△ 193
営業利益	**5,048**	**1.5%**	**2,900**	**2,369**	**0.8%**	**△ 2,679**	**-53.1%**	**△ 531**
営業外収益	568	0.2%	1,300	958	0.3%	390	68.7%	△ 342
営業外費用	2,596	0.8%	1,400	1,322	0.5%	△ 1,274	-49.1%	△ 78
経常利益	**3,020**	**0.9%**	**2,800**	**2,006**	**0.7%**	**△ 1,014**	**-33.6%**	**△ 794**
特別利益	38	0.0%	5	11	**0.0%**	**△ 27**	-71.1%	**6**
特別損失	76	0.0%	250	1,231	0.4%	1,155	1519.7%	981
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,636**	**0.5%**	**1,350**	**△ 75**	**0.0%**	**△ 1,711**	-	**△ 1,425**
期末従業員数（名）	1,336	-	-	1,324	-	△ 12	-0.9%	-

Point

売上高	通信機器向け半導体の需要減、18年10月のサムスン電子事業譲渡による減少
売上総利益	売上高の減少、上期の円高進行で円ベースの売上総利益が減少
営業利益	販管費を抑制したものの、売上総利益の減少を補えず減益
経常利益	外貨建て債務の決済や時価評価に伴う為替差益7億円計上したが減益
当期純利益	特別損失として投資有価証券評価損 978百万円を計上

© 2020 MARUBUN CORPORATION

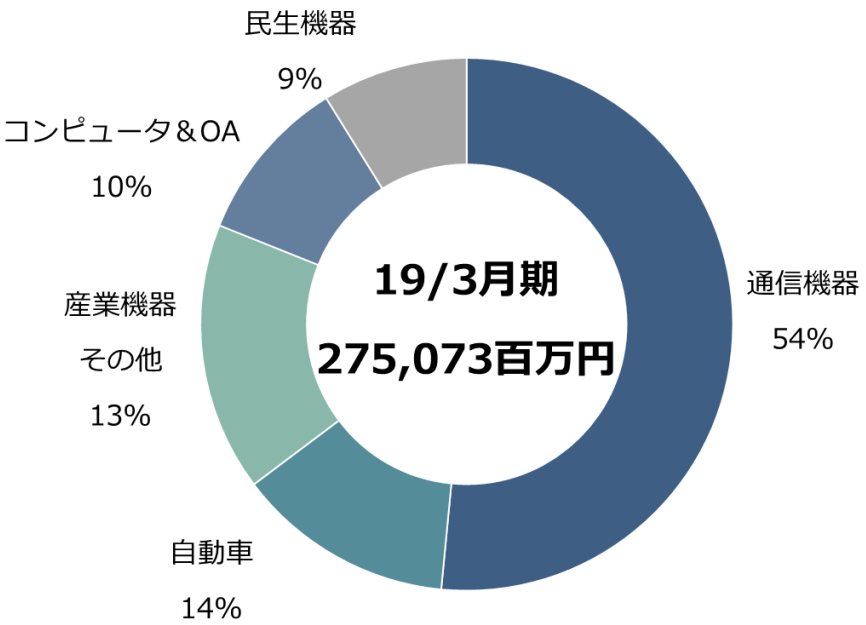
2020年３月期 『デバイス事業』品目別売上高

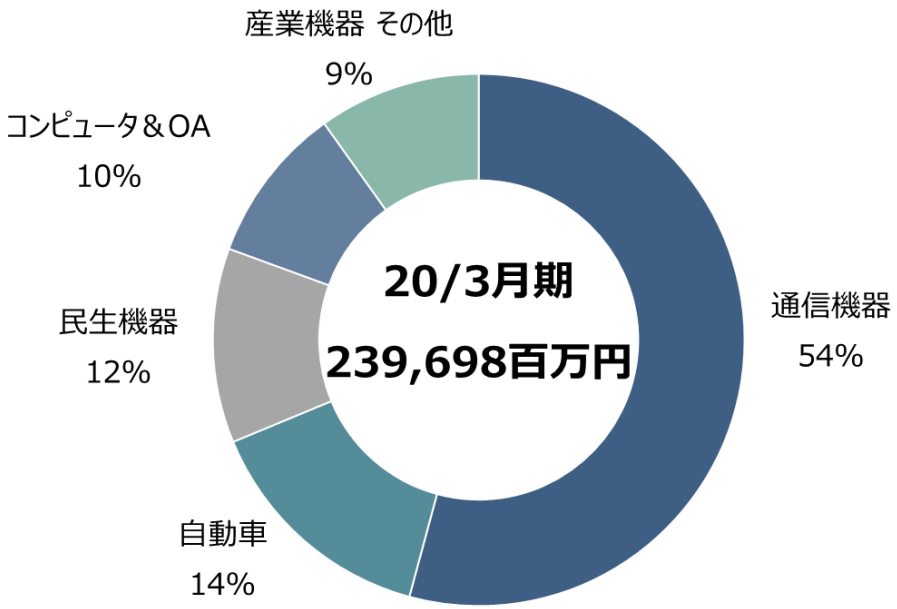


© 2020 MARUBUN CORPORATION

2020年３月期 『デバイス事業』用途別動向

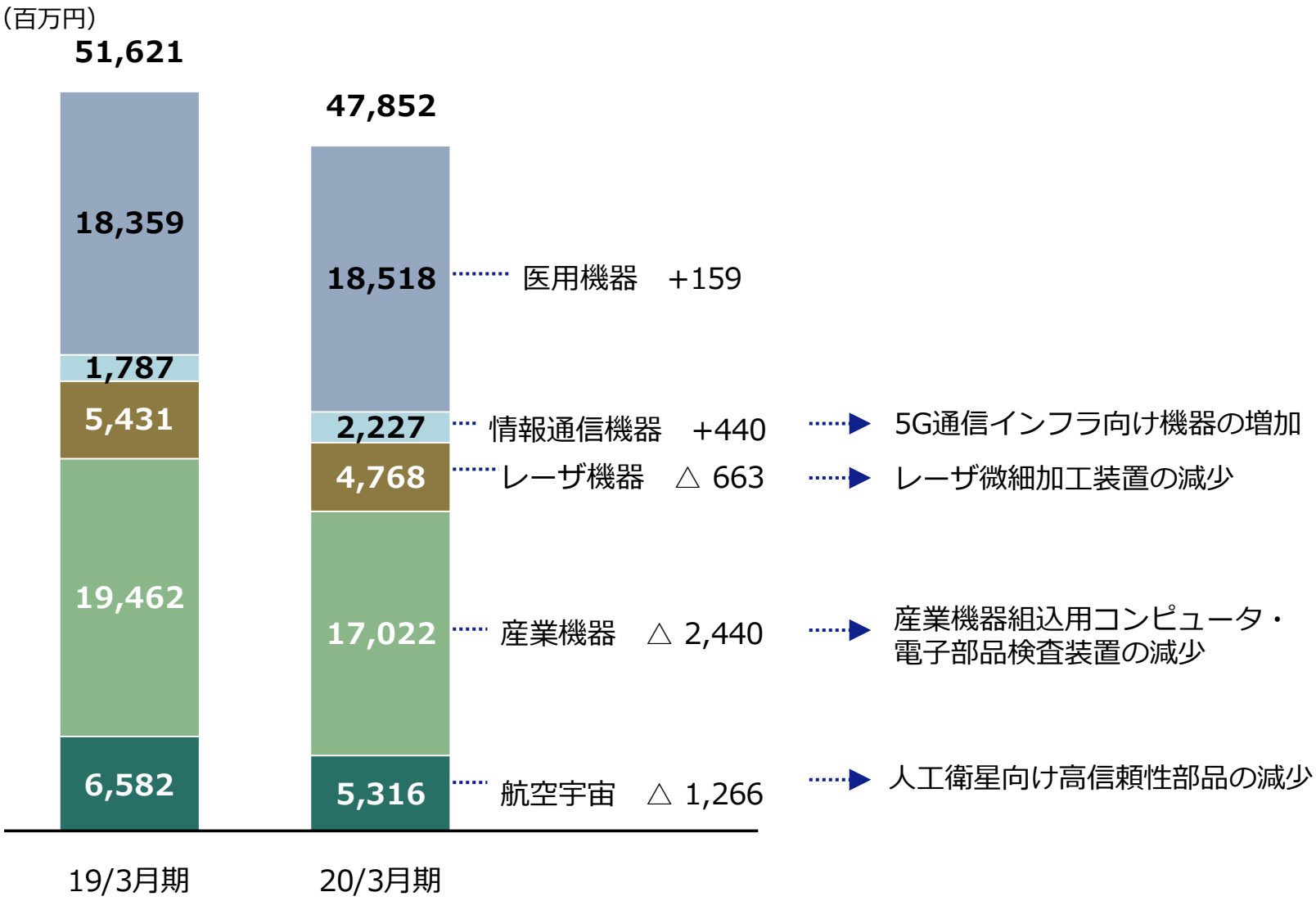
用　　途	動　向
通信機器	通信端末向けが減少
自動車	車載機器向けで減少
産業機器その他	FA機器向けが減少
コンピュータ＆OA	OA機器向けが減少
民生機器	ゲーム機器向けが増加





© 2020 MARUBUN CORPORATION

2020年３月期 『システム事業』品目別売上高



© 2020 MARUBUN CORPORATION

2020年３月期 貸借対照表の概要

(百万円)	19/3月期末 実績	20/3月期 末 実績	前期末比 増減額	主な増減理由	
資産合計	**128,163**	**131,451**	**3,288**		
流動資産	113,985	118,617	4,632	現金及び預金	+4,442
				受取手形及び売掛金	+2,511
				商品及び製品	△2,342
固定資産	14,177	12,833	△ 1,344	投資その他資産	△1,417
負債合計	**78,436**	**83,246**	**4,810**		
流動負債	75,623	76,537	914	短期借入金	+8,410
				1年内返済予定長期借入金	△6,500
固定負債	2,813	6,708	3,895	長期借入金	+3,950
純資産合計	**49,726**	**48,204**	**△ 1,522**		

© 2020 MARUBUN CORPORATION

株主還元

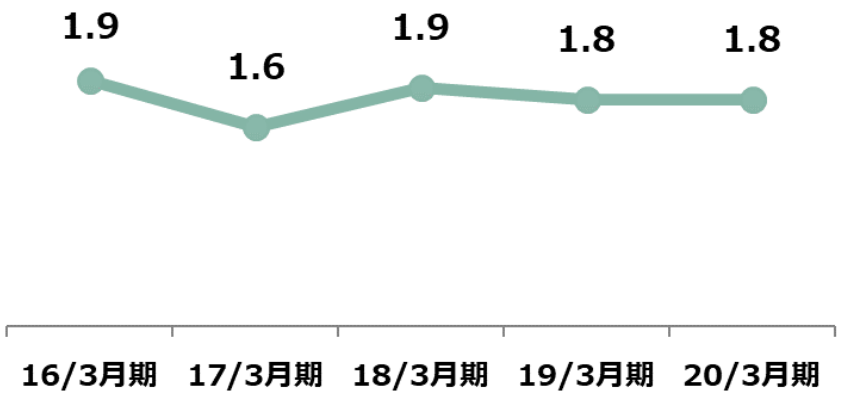
© 2020 MARUBUN CORPORATION

株主還元

配当方針

配当性向　連結30%以上

■ DOE(株主資本配当率)の推移(%)



配当予想

	20/3月期	21/3月期（予想）
1株当たり年間配当金(円)	**30.00**	**未定**
中間配当	10.00	未定
期末配当	20.00	未定
配当性向(%)	-	-

© 2020 MARUBUN CORPORATION

中期経営計画
事業戦略と重点施策

© 2020 MARUBUN CORPORATION

2019-2021年度 中期経営計画の取り組み

中期経営計画 方針

① 新たな価値を創造するビジネスモデルの構築

② 成長市場に向けた事業開発の促進

③ 持続可能な社会に貢献する取り組みの強化

市場環境の変化

貿易摩擦を背景とした経済停滞

新型コロナウイルス感染症の影響

自社環境の変化

産業機器向け需要の低迷

TI社との特約店契約終了

経営目標

ROE目標を5.0%以上の達成に変更

© 2020 MARUBUN CORPORATION

デバイス事業の取り組み

取り組みテーマ

事業ポートフォリオの進化

生産性の向上

事業収益の最大化を目指した
取り組みを推進

© 2020 MARUBUN CORPORATION

デバイス事業の取り組み

既存ラインカードの深耕

- 新たなお客様とのビジネス開始
- ソリューション提案力の強化
- ラインカードの充実

→ サービス向上

成長市場での事業拡大

■ 医療や介護、IoTなどの分野に投資

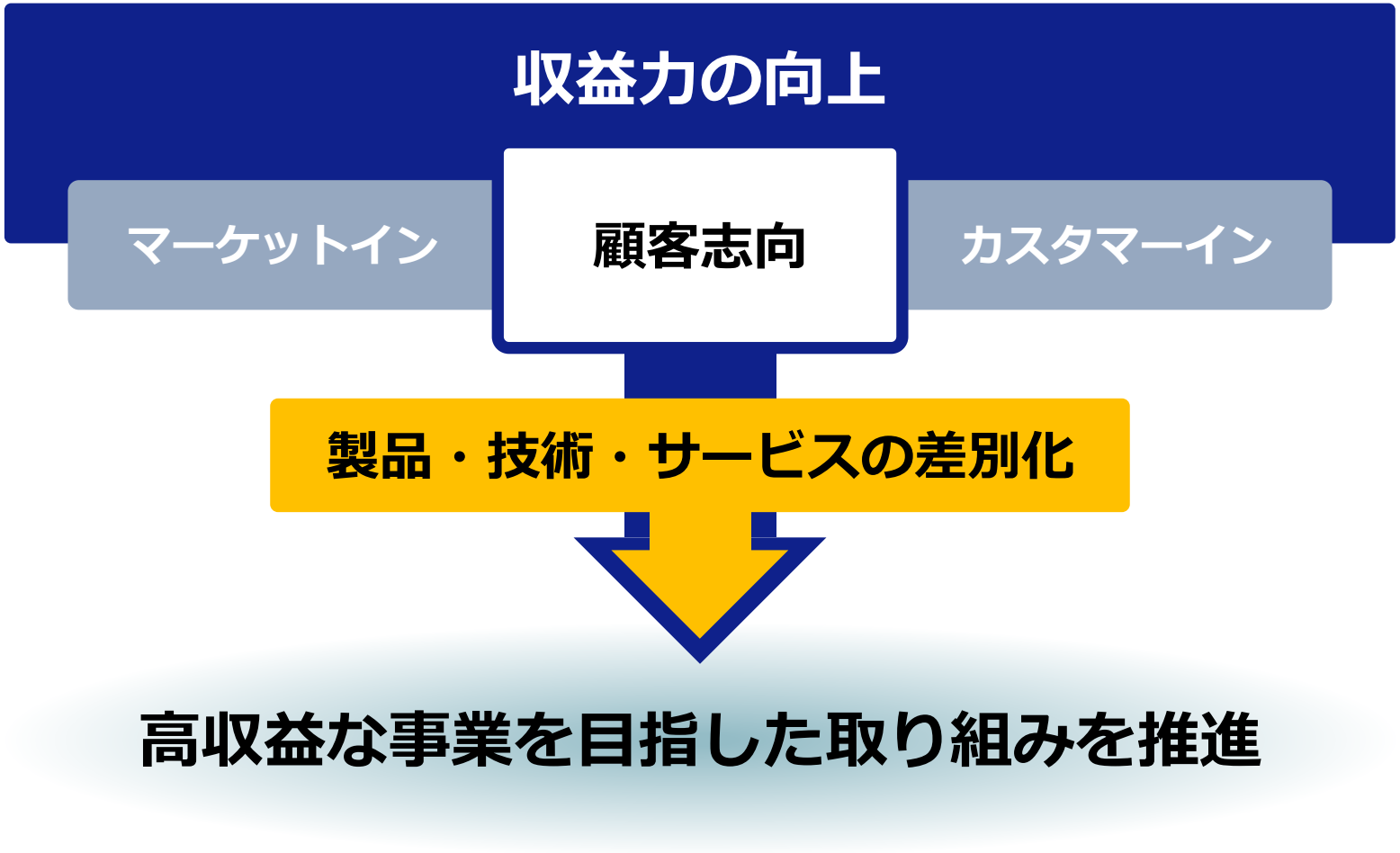
ロボティクス	自動車分野	ソフトウェア
		VANTIQ
Aeolus Robotics社	Silicon Mobility社	VANTIQ社

海外ネットワークの充実

■ 北米での成長維持・拡大
■ 欧州での事業の拡大

© 2020 MARUBUN CORPORATION

システム事業の取り組み



© 2020 MARUBUN CORPORATION

システム事業の分野別の取り組み

航空宇宙機器	■人工衛星・ロケット搭載モジュール向け高信頼性部品の拡販 ■航空宇宙向けや自動車向け新規商材を拡大
情報通信機器	■５Ｇ関連製品の取扱いと高い専門性で更なる事業拡大に注力 ■成長市場へのアプローチやコネクティドソリューションへの展開
レーザ機器	■産業機器向け、医療用向けで維持・拡大 ■商品ラインアップの拡充と販促活動の強化
産業機器	■産業向けや自動車向けの組立・検査・解析装置の事業伸長に注力 ■最先端製品の開発やソリューション提案力を強化
医療機器	■取扱い製品のエンジニアリング力を強化しシェア拡大 ■新規商材の拡充と販売エリアの更なる拡大

© 2020 MARUBUN CORPORATION

2021年3月期　業績予想について

© 2020 MARUBUN CORPORATION

2021年3月期　業績予想について

業績予想

- 2021年３月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難であるため未定としています

- 今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表します

© 2020 MARUBUN CORPORATION

参考情報

© 2020 MARUBUN CORPORATION

企業概況

会社概要

創　　業	1844年（弘化元年）
設　　立	1947年（昭和22年）7月
所 在 地	東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号
資 本 金	62億1,450万円
決算期日	3月31日
代 表 者	代表取締役社長　飯野亨
売 上 高	連結　2,875億円（2020年３月期） 単体　2,318億円（2020年３月期）
従業員数	連結　1,324名（2020年3月末） 単体　　750名（2020年3月末）
株式上場	東京証券取引所　市場第一部（コード:7537）

事業領域

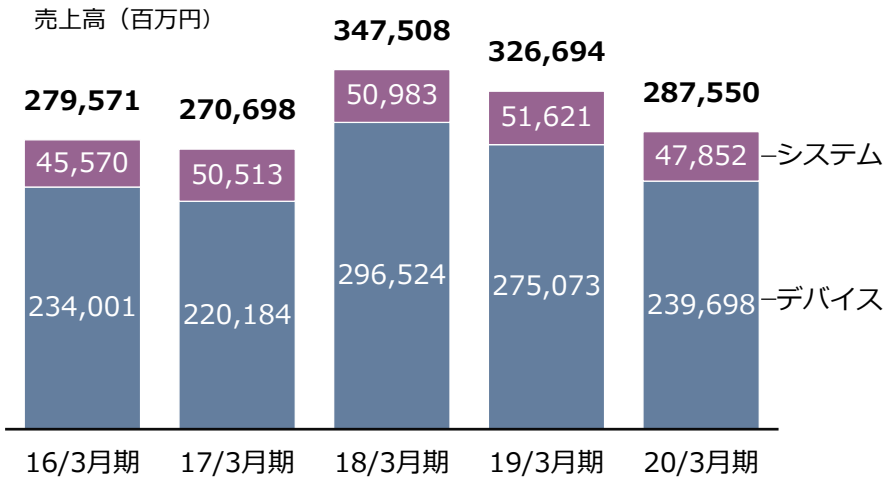
デバイス事業

- 半導体
- 電子部品

システム事業

- 航空宇宙機器
- 産業機器
- レーザ機器
- 情報通信機器
- 医用機器

連結売上高の推移



© 2020 MARUBUN CORPORATION

沿　革

国　内

2019
丸文通商が北信理化を吸収合併

2018
ケィティーエルを吸収合併

2016
ケィティーエルを子会社化

2015
池田医療電機を子会社化

2013
北信理化を子会社化

2007
フォーサイトテクノを子会社化

2005
丸文ウエストを設立

2001
東京証券取引所市場第一部上場

1997
東京証券取引所市場第二部上場

1985
物流機能強化のため、物流センターを設置

1965
Texas Instruments社製集積回路を国内で初めて輸入販売

1961
金沢支店を分社し、丸文通商を設立

1952
Rocke International社と代理店契約し、独自での米国製機器の輸入販売を開始

1947
機械器具、日用雑貨類の販売と輸出入を目的に丸文株式会社を設立

1897
呉服問屋を停止し、資産管理を目的に堀越事務所を設立

1844
現本社所在地で呉服問屋「堀越」（屋号「丸文」）を創業

海　外

2017
ハンガリーに現地法人を設立

2014
インドネシア、メキシコに現地法人を設立

2013
深せんに現地法人を設立

2006
マレーシアに現地法人を設立

2002
フィリピン、上海に現地法人を設立

2001
タイに現地法人を設立

1999
米国Arrow Electronics社と折半出資でMarubun/Arrow USA,LLCを設立

1998
米国Arrow Electronics社と折半出資でMarubun/Arrow Asia,Ltd.を設立

1994
香港に現地法人を設立

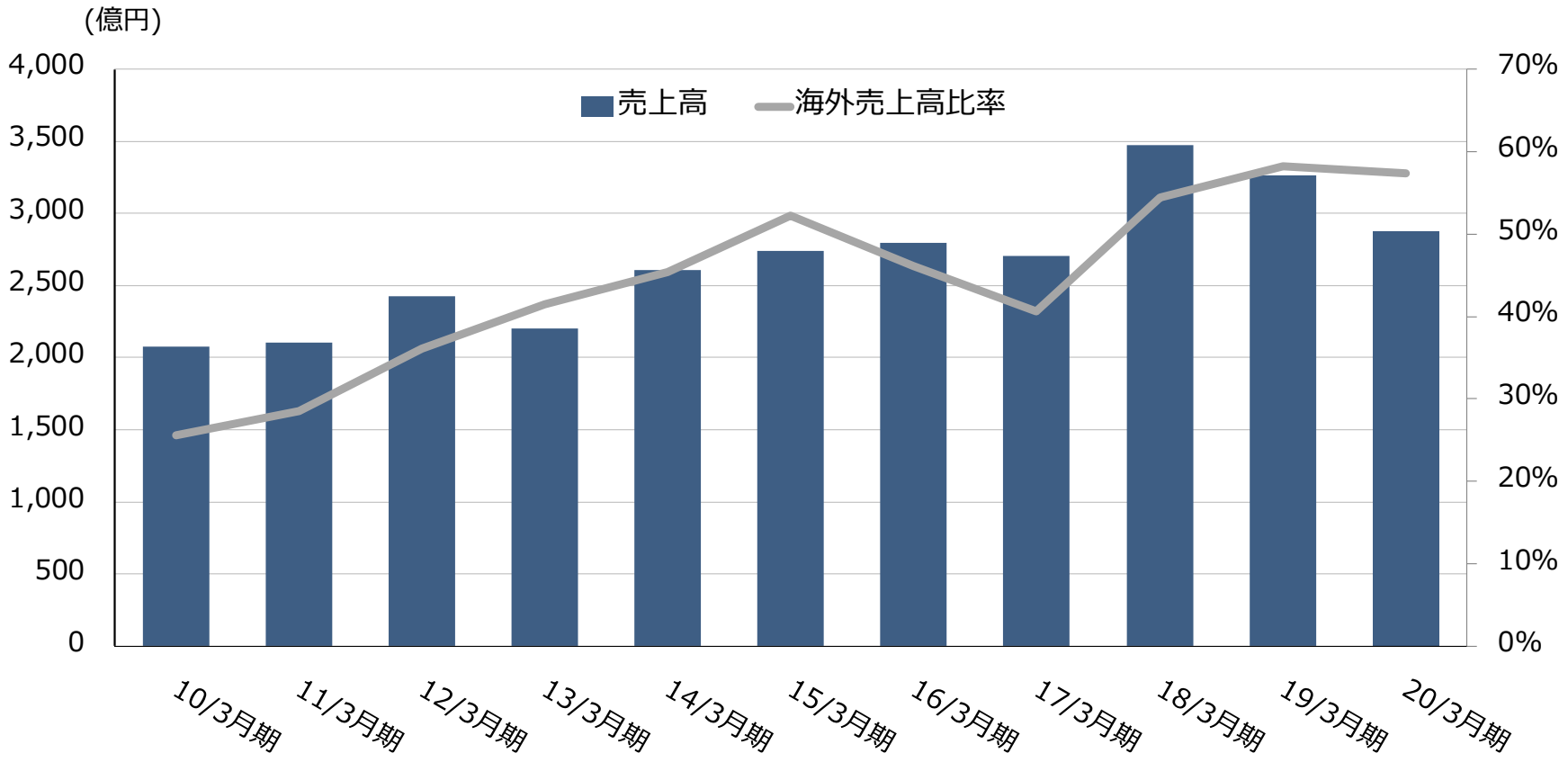
1989
台湾に現地法人を設立

1988
シンガポールに現地法人を設立

1968
米国駐在事務所を設置

© 2020 MARUBUN CORPORATION

中長期トレンド（売上高・海外売上高比率）



© 2020 MARUBUN CORPORATION

関係会社

丸文株式会社

丸文アローアジア
- デバイス事業
  アジア地域の日系企業への
  半導体・電子部品の販売

丸文通商
- システム事業
  医用機器・試験計測機器の
  販売

丸文アローUSA
- デバイス事業
  北米地域の日系企業への
  半導体・電子部品の販売

丸文ウエスト
- システム事業
  試験計測機器の販売

丸文アローヨーロッパ
- デバイス事業
  欧州地域の日系企業への
  半導体・電子部品の販売

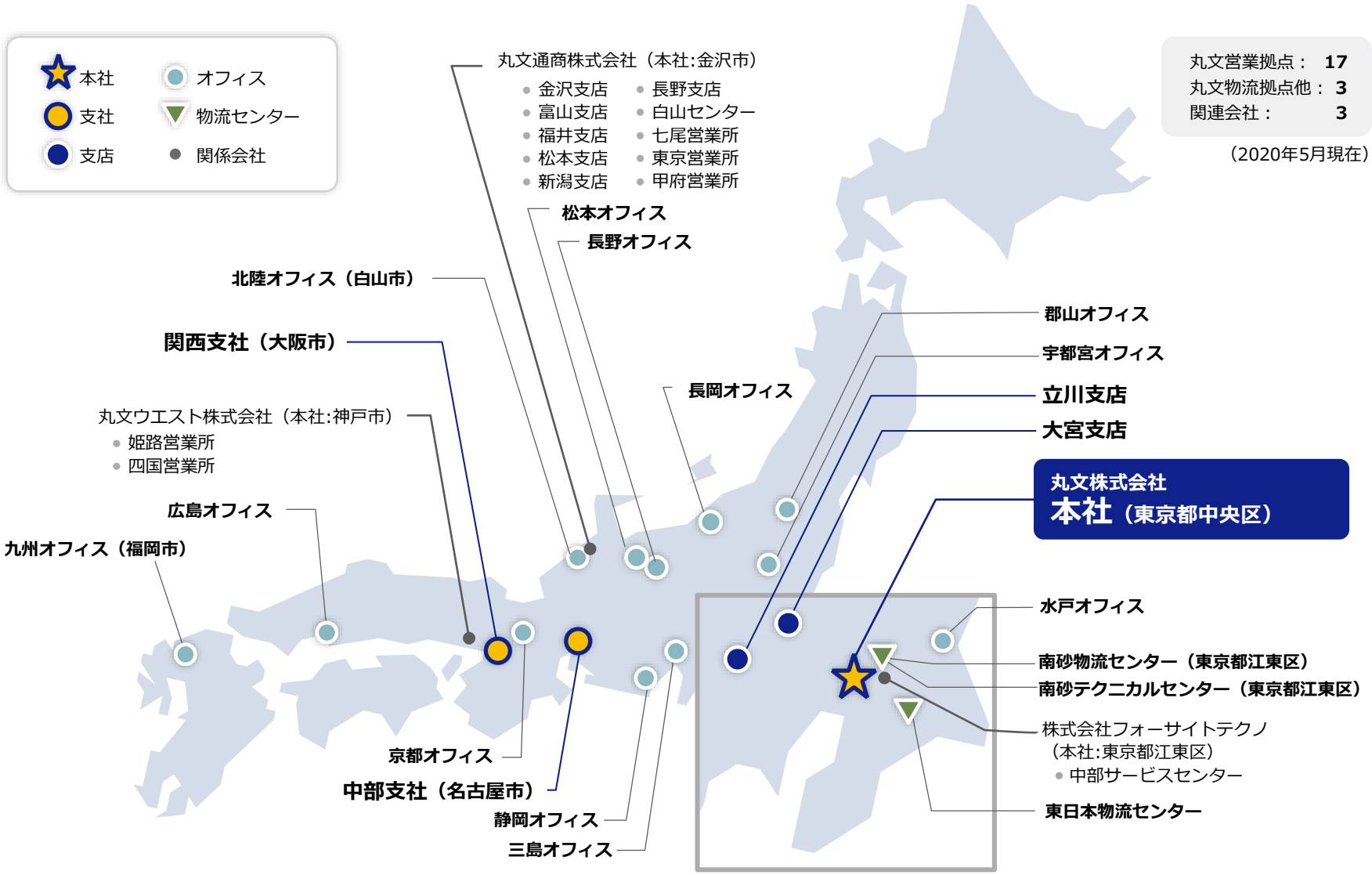
フォーサイトテクノ
- システム事業
  機器据え付け・保守等
  エンジニアリングサービス

米国丸文
- デバイス事業
  北米地域での商材の開拓

台湾丸文
- デバイス事業
  中国・台湾での商材の開拓

© 2020 MARUBUN CORPORATION

国内拠点

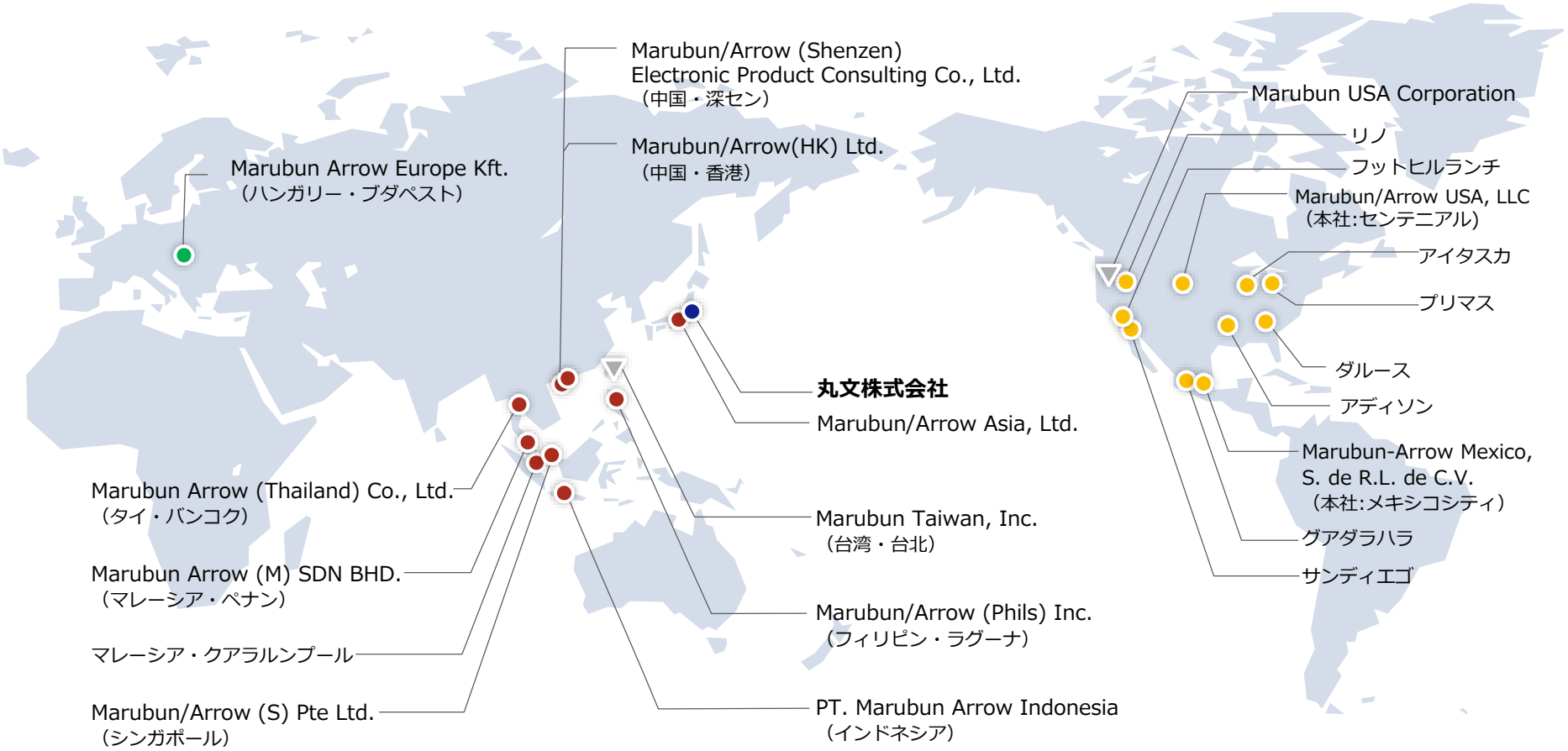


丸文営業拠点： 17
丸文物流拠点他： 3
関連会社： 3

（2020年5月現在）

© 2020 MARUBUN CORPORATION

グローバルネットワーク



アジア拠点：**11**
北米拠点：　**11**
欧州拠点：　**1**

（2020年4月現在）

丸文株式会社　Marubun/Arrow Asia, Ltd.　Marubun/Arrow USA, LLC.　Marubun Arrow Europe Kft.　その他

© 2020 MARUBUN CORPORATION

提供価値

グローバルサポート

- アローエレクトロニクス（80ヶ国、349拠点）との協業
- 丸文アローによるワールドワイドで日本品質のサポート

豊富なラインカードと製品相互のシナジー

- 国内外の競争力のあるサプライヤをラインナップ
- 標準品からカスタムまで幅広い取扱製品

提供価値

システムソリューション

- 高い専門性をもつ強力な技術サポート体制
- 3rdパーティ、モジュールメーカ、EMS/ODM等との協業関係

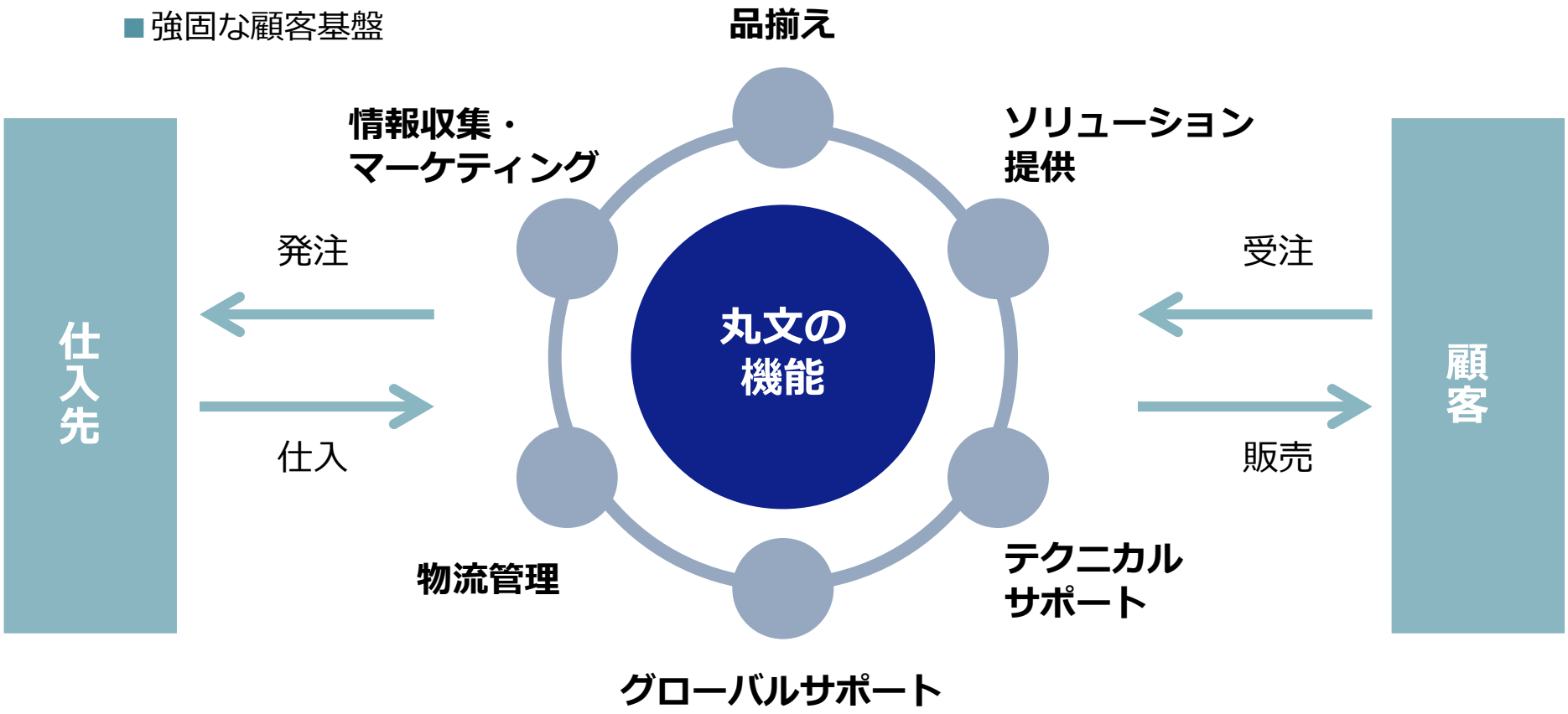
長年に渡る取引で培われた強固な顧客基盤

- 国内電子機器メーカーを中心とする強固な顧客基盤

© 2020 MARUBUN CORPORATION

デバイス事業：特徴と強み

- 海外サプライヤを中心とした豊富な品揃え
- 米国アロー社(80ヶ国、349拠点)との提携によるグローバルネットワーク
- 高度な技術力をもとにしたソリューション提案力
- 強固な顧客基盤



© 2020 MARUBUN CORPORATION

デバイス事業：グループ会社概要

社 名	住 所	設立年月	出費比率	事 業 内 容
Marubun USA Corporation	California, U.S.A.	1983年10月	100%	丸文アローUSAの持株会社
Marubun Taiwan, Inc.	Taipei, Taiwan	1989年11月	100%	台湾製デバイスの仕入販売
Marubun/Arrow Asia, Ltd.	British Virgin Islands	1998年10月	50%	丸文アローシンガポール、 丸文アロー香港の持株会社
Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.	Anson Road, Singapore	1988年3月	50%	海外進出した日系企業への 半導体・電子部品の仕入販売
Marubun/Arrow (HK) Ltd.	Hong Kong, China	1994年8月	50%	
Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.	Bangkok, Thailand	2000年10月	50%	
Marubun/Arrow (Phils), Inc.	Laguna, Philippines	2001年10月	50%	
Marubun Arrow (M) SDN BHD	Penang, Malaysia	2006年6月	50%	
Marubun/Arrow (Shenzhen) Electronic Product Consulting Co.,Ltd.	Shenzhen, China	2013年6月	50%	
PT. Marubun Arrow Indonesia	Jakarta, Indonesia	2014年4月	50%	
Marubun/Arrow USA, LLC*	Delaware, U.S.A.	1998年11月	50%	
Marubun-Arrow Mexico, S. de R.L. de C.V.*	MexicoCity, MEXICO	2014年9月	50%	
Marubun Arrow Europe Kft.*	Budapest, Hungary	2017年11月	50%	

* Marubun/Arrow USA、Marubun-Arrow Mexico、Marubun Arrow Europe Kft.は持分法適用の関連会社です。

© 2020 MARUBUN CORPORATION

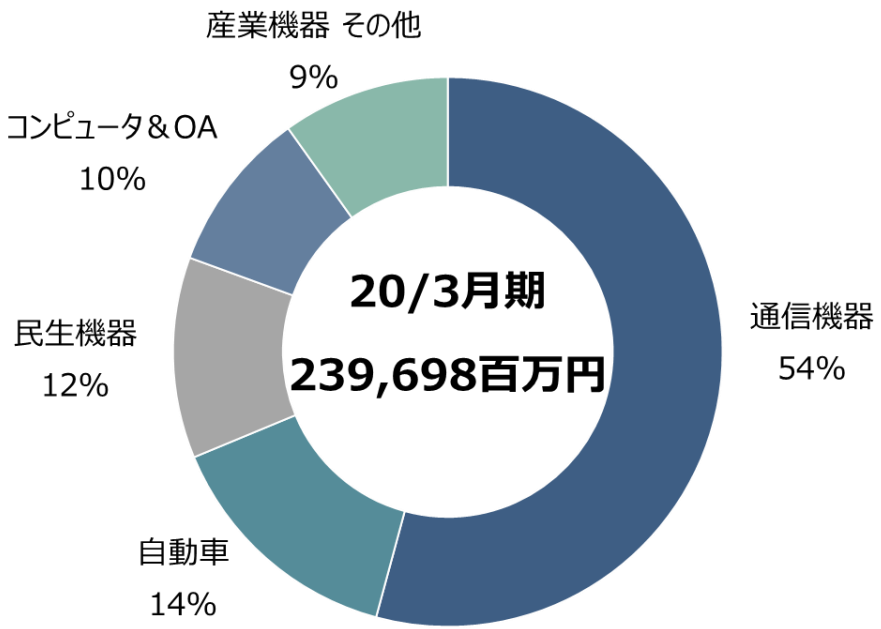
デバイス事業：取扱製品（サプライヤ別）

			サプライヤ　（アルファベット順）													
			旭化成エレクトロニクス	エイブリック	Broadcom（米国）	Cypress（米国）	Eink（台湾）	FINsix（米国）	Littlelfuse（米国）	Maxim（米国）	Molex（米国）	Qorvo（米国）	SanDisk(WD)（米国）	セイコーエプソン	TexasInstruments（米国）	その他
半導体	アナログIC		●	●	●				●	●		●			●	●
半導体	標準ロジックIC														●	
半導体	メモリーIC	DRAM														●
半導体	メモリーIC	フラッシュ											●			●
半導体	メモリーIC	その他メモリー		●									●			
半導体	マイクロプロセッサ	MPU、MCU												●	●	●
半導体	マイクロプロセッサ	DSP	●												●	●
半導体	特定用途IC	ASSP	●		●	●				●		●		●	●	●
半導体	特定用途IC	ディスプレイドライバ												●	●	
半導体	特定用途IC	DMD													●	
半導体	特定用途IC	LED														●
半導体	カスタムIC		●											●		●
電子部品	表示デバイス						●									●
電子部品	水晶デバイス			●										●		
電子部品	コネクタ・スイッチ・プリント基板										●					●
電子部品	モジュール製品							●								●

© 2020 MARUBUN CORPORATION

デバイス事業：主要取扱い製品（用途別）

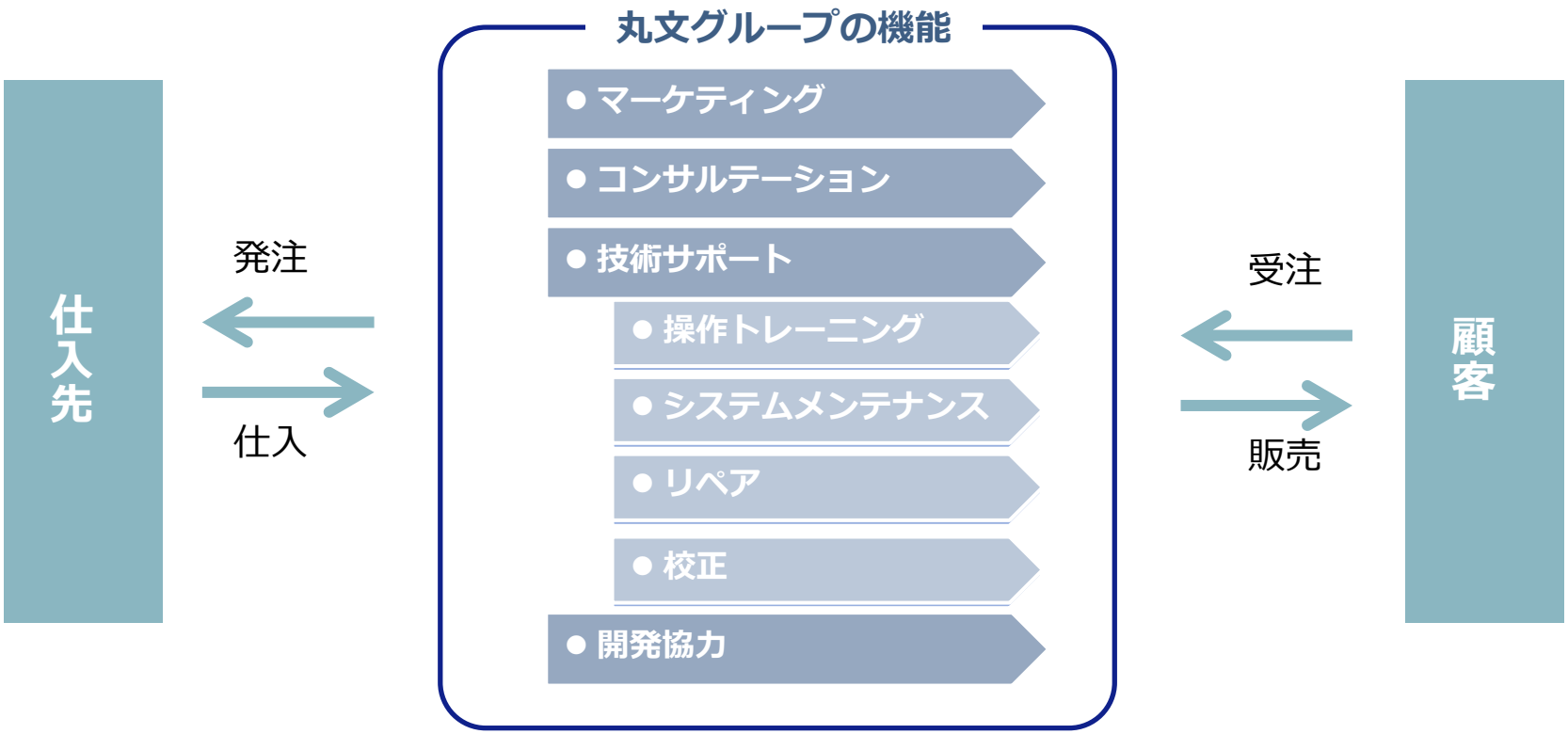
		通信機器	コンピュータ OA	産業機器	自動車	民生機器
半導体						
アナログIC	アナログ	●	●	●	●	●
	ディスクリート	●		●	●	●
標準ロジックIC		●	●	●	●	●
メモリーIC	DRAM	●	●		●	●
	フラッシュ	●	●			●
マイクロプロセッサ	MPU、MCU	●	●	●	●	●
	DSP	●		●	●	●
特定用途IC	ASSP	●			●	●
	ディスプレイドライバ	●	●		●	●
	DMD	●	●	●	●	●
	LED	●	●			●
カスタムIC		●	●		●	●
電子部品						
表示デバイス		●	●	●	●	●
水晶デバイス		●		●	●	●
コネクタ・スイッチ・プリント基板		●				●
モジュール製品			●		●	●



© 2020 MARUBUN CORPORATION

システム事業：特徴と強み

■ハイエンド市場で、技術優位性の高い電子機器・部品を提供
■システム提案から据え付け保守まで、一貫した高レベルの技術サポート



© 2020 MARUBUN CORPORATION

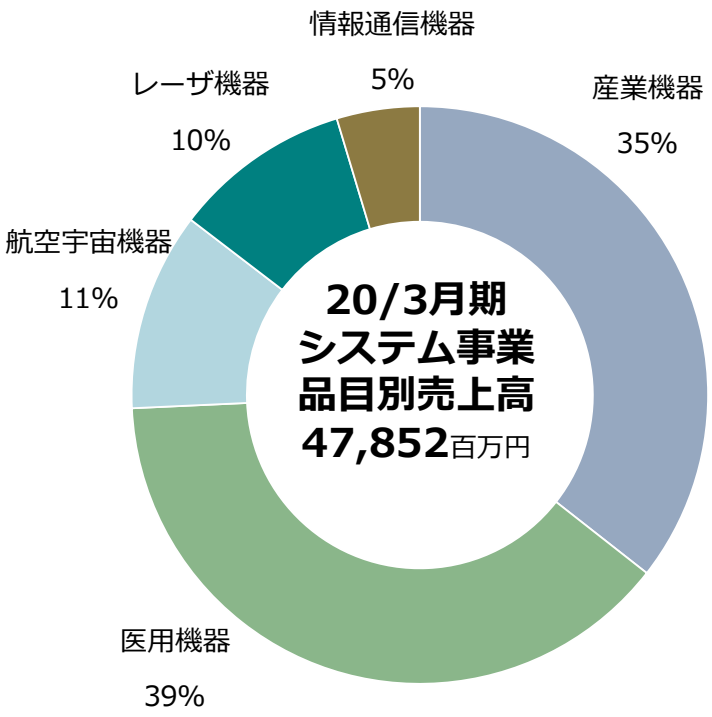
システム事業：グループ会社概要

社　名	本　社	設立年月	出費比率	事　業　内　容
丸文通商株式会社	石川県金沢市	1961年3月	100%	医用機器および試験計測機器の仕入販売・修理・メンテナンス
丸文ウエスト株式会社	兵庫県神戸市	2005年5月	100%	試験計測機器の仕入販売
株式会社フォーサイトテクノ	東京都江東区	1999年3月	51%	システム製品の修理・メンテナンス、エンジニアリングサービス

© 2020 MARUBUN CORPORATION

システム事業：主要取扱い製品①

分野	主要取扱商品	主要仕入先
産業機器	検査装置 組立・検査装置	ユニハイトシステム、FEI、島津製作所、アキム、セイコーエプソン
	組込ソリューション 科学機器	ARTESYN、Aitech、ADLINK、LayTec、Riber
医用機器	画像診断機器	シーメンス、島津製作所、コニカミノルタヘルスケア
	人工透析機器	日機装、旭化成メディカル、カネカメディックス
レーザ機器	半導体レーザ レーザ加工機	nLight、Laserline
	光機器	Excelitas Technologies、Luminus Devices、First Sensor
航空宇宙機器	宇宙関連機器 計測・センサ	Tele Communication Systems、GEセンシング、Meggit、Plascore
	航空関連機器 高周波電子機器	TEXTRON、L3 Technologies、CPI、Bird
情報通信機器	RF・光通信 測位タイミング	PCTEL、EXFO、Microchip、Calnex、Spirent



© 2020 MARUBUN CORPORATION

システム事業：主要取扱い製品②

航空宇宙機器

BEI Sensors社
高信頼性部品

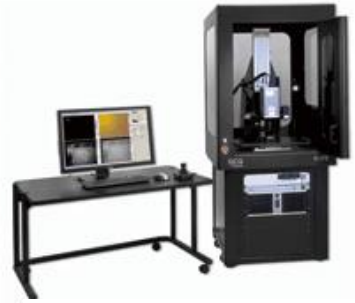
CPI社
マイクロ波電子管

産業機器

島津製作所
ガスクロマトグラフ質量分析計

アキム
電子部品組立装置

DCG Systems



FEI社
赤外線発熱解析装置

FUJI
大気圧プラズマ表面改質装置

© 2020 MARUBUN CORPORATION

システム事業：主要取扱い製品③

レーザ機器

nLIGHT社
組込み用半導体レーザ

Laserline社
レーザー加工装置

情報通信機器

Microchip社
ネットワークタイムサーバー

Spirent社
GNSSシミュレータ

医用機器

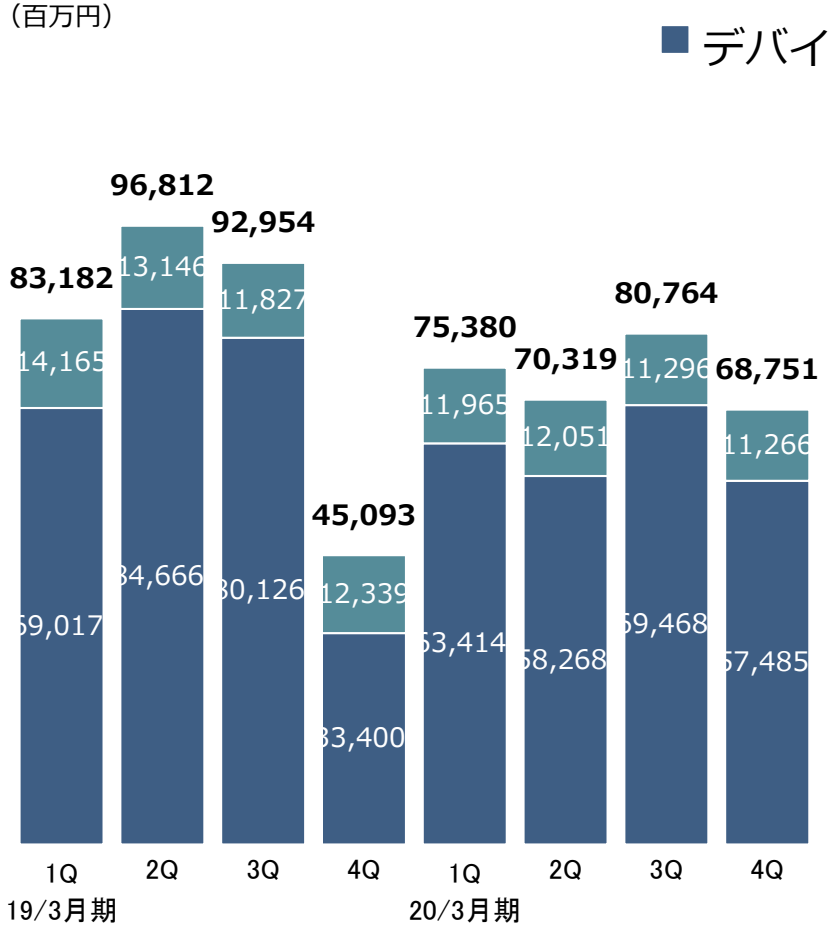
シーメンス・ジャパン社
X線CT装置

© 2020 MARUBUN CORPORATION

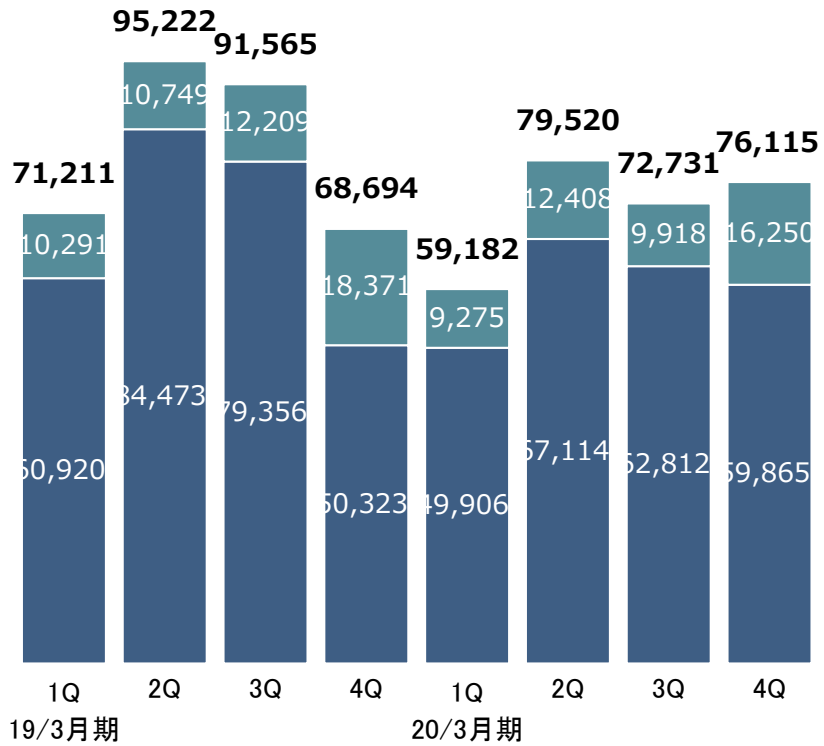
業績四半期推移（事業別受注高・事業別売上高）

事業別受注高

（百万円）

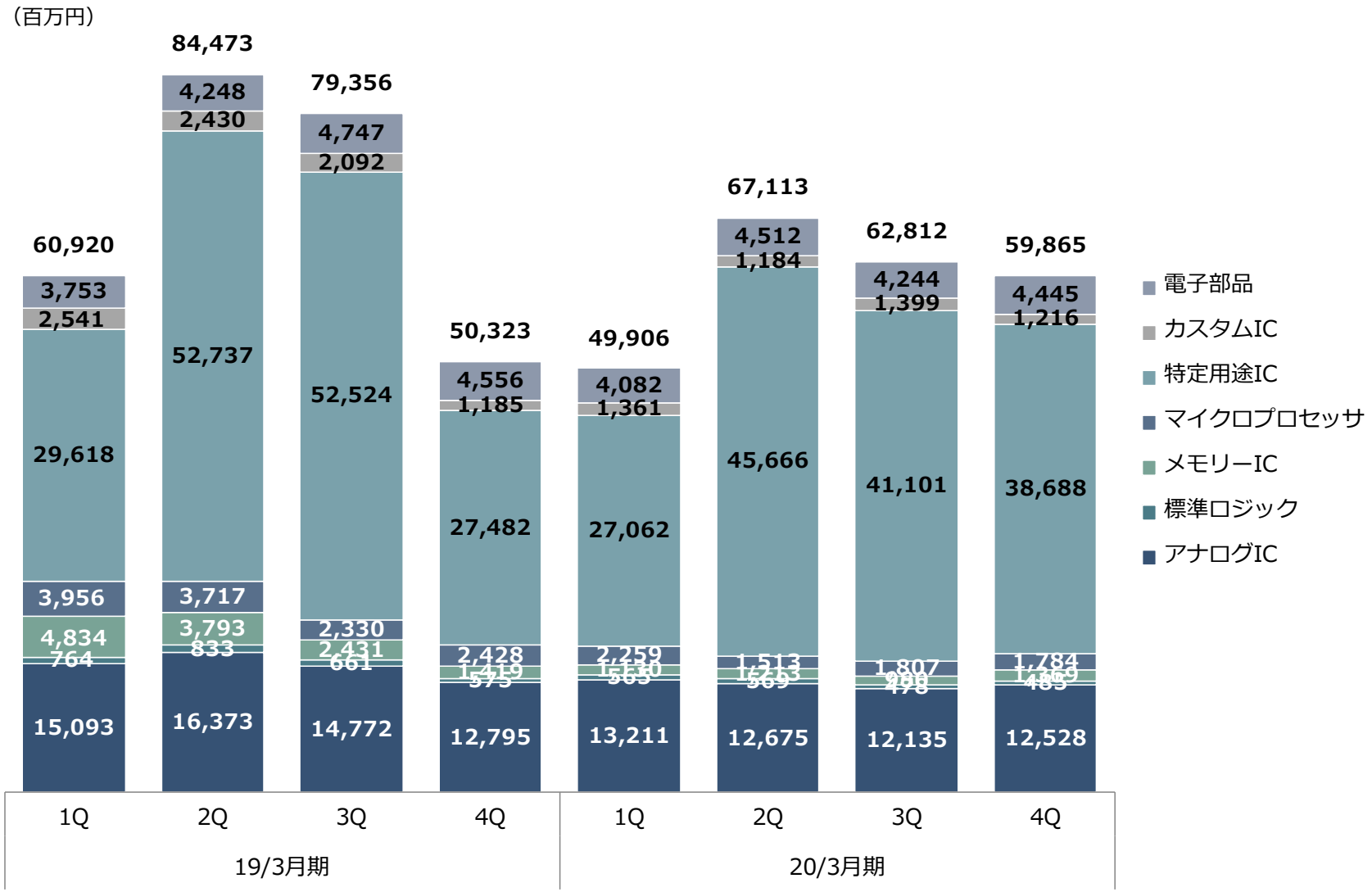


事業別売上高



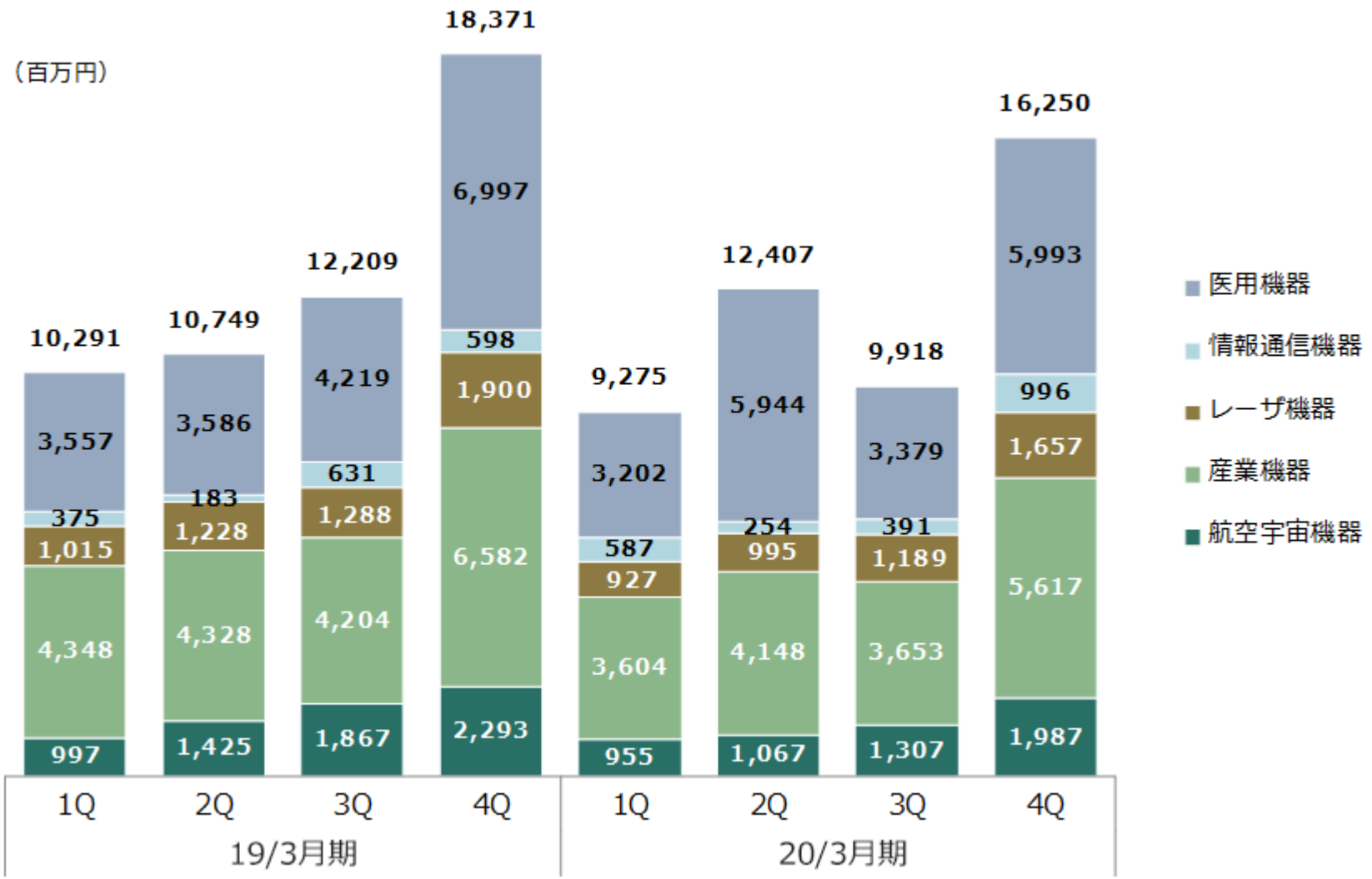
© 2020 MARUBUN CORPORATION

業績四半期推移（デバイス事業：品目別売上高）



© 2020 MARUBUN CORPORATION

業績四半期推移（システム事業：品目別売上高）



© 2020 MARUBUN CORPORATION

本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社　経営企画部

E-mail　ir@marubun.co.jp

TEL　03-3639-3010

© 2020 MARUBUN CORPORATION